

サモアと日本のかけ橋をかけよう！

学 校 名：門真市立大和田小学校

指導時数：11 時間

名 前：吉水 拓真

対象学年：小学 4 年生

実践教科：総合的な学習の時間・社会

対象人数：37 人

1. 教師海外研修を通して感じたこと

「他人事から自分事へ」というテーマで研修に臨んだ。まずは、自分自身がサモアで見たこと、経験したことをどう自分事として感じるか、そして、日本社会、教育の中でどう活かせるかという視点で活動した。

サモアでの学びを挙げるとしたら、次の3つだろう。

①「生きる原点」日本は便利だが、生きるためにお金がかかる。ありとあらゆる物があふれているため、生活はしやすいが、生きている実感は得にくい。その点、サモア（ムラ）での生活はシンプルである。海で泳いだり星を見たり、友だちと遊ぶのにお金はいらぬ。水は海から汲み、生き物からのちをいただく。ムラの人が服を作り、ムラの人がパンを焼く。ムラの中でほぼ社会が完結している。

②「人のあたたかさ」会う人会う人、笑顔であいさつをしてくれる。こわそうな人も話しかけたら、とても親切でびっくりする。日本から来た見ず知らずの私を本当の息子のように接してくれる。人ってあったかいんやなあって思う。日本でも感じられたらなあとしみじみ思った。

③「幸せのカタチ」サモアの生活は、日本の生活に比べれば、水も電気も食料もいろんな物が不足していて、足りない物を挙げれば切りがない。しかし、ムラの人は何も困っていない。今の生活に幸せを感じて生きている人がほとんどだ。多少のお金が必要だが、出稼ぎに出ても将来はこのムラに戻り生活したいと願っている人も多い。一方で、村から早く出たい、オーストラリア（都会）に行きたいと願う人もいる。一概に、何が正しいのかなんて誰も決められない。決めるのは自分自身。幸せのカタチは人それぞれだ。

2. カリキュラム

(1) 実践の目的・背景

現在担任をしているクラスの子どもたちを見たときに、子どもたちが自ら興味を持って学んでいけるようにしたい。また、自分に自信の持てない子たちが多くいるので、その子たちも安心して学習でき、それぞれのちがいを認めあっていけるようなクラスづくりに活かしていきたいという思いで、2つのねらいのもと、授業づくりをした。

◎サモアという国の文化、くらしを知り、交流する中で、自身の価値観を広げ、ちがいを認め合える意識を育てる。

◎サモアを通して日本の課題に向き合い、自ら動き出す力を育てる。

子どもたちには、サモアの良さや魅力を伝えることで、まずはサモアに興味を持ってほしい。また、サモアの生活や人々の様子を見て、様々なちがいを感じ、自分の中にある固定概念を緩やかにほぐし、それぞれの持ち味を認め合えるきっかけにしてほしいという思いで単元構成をした。

(2) 授業の構成

時限・テーマ・ねらい	方法・内容	使用教材
1 時限目 サモアと言えば？ 日本と言えば？	① サモアについて知っていること ② サモアの紹介（場所・歌・写真など） ③ 日本と言えば、何？ ④ 何をサモアの子に伝えたいか？	● サモアの歌 ● パワーポイント
2 時限目 日本を伝えよう！	① 班で「伝えたい日本」を分担する。 ② ポスター作り	● 画用紙
3 時限目 サモアの暮らし①	① Google Earth でサモア旅行 ② あいさつ、文化（タトゥー・マタイなど） ③ サモア「モノ・ランゲージ」	● サモアグッズ （うちわ・首飾り・実・アロア・ラバラバ・アヴァ） ● パワーポイント
4 時限目 サモアの暮らし②	① 家 ② 一日の様子 ③ サモアの遊び ④ キリスト教、教会 ⑤ 儀式的説明 ⑥ アヴァの儀式	● パワーポイント ● アヴァの儀式セット
5 時限目 サモアの食文化と 「いのち」	① サモアの食事 ② プタのいのちは、かわいそう？ ③ 絵本「いただきます」 ④ 「いただきます」「ごちそうさま」の意味 ⑤ 考えたことをまとめる。	● パワーポイント ● 絵本「いただきます」
6 時限目 サモアの学校教育	① 学校・子どもの様子 ② 表彰 ③ 算数の課題 ④ 津波・地震の授業の様子	● パワーポイント
7 時限目 サモアからのメッセージ 「ゴミ問題」	① サモアのゴミ処理施設 ② サモアのゴミ意識 ③ DVD「世界のゴミ捨て場に生きる人」 ④ 感想交流	● パワーポイント ● DVD「世界のゴミ捨て場に生きる人」
8 時限目 JICA 関西・中西さんに 手紙を書こう！	① JICA チームの提案（JICA の方を 4 年 1 組に呼び、 いろんな話を聞きたい） ② みんなで手紙を書こう。	● 手紙 ● 写真
9 時限目 しあわせのカタチ	① 日本とサモアの幸せ度は、どのくらい？ ② なぜ、こんなに幸せの感じが違うの？ ③ 日本の良いところと課題 サモアの良いところと課題 ④ 「大切なものランキング」を振り返り、比較する。 ⑤ 気づいたことを出し合い、話し合う。	● 世界幸福度指数ラン キング ● 大切なものランキン グカード
10 時限目 教室に JICA 関西・ 中西さんがやってきた！	① 中西さん挨拶&自己紹介 ② JICA や国際協力についての話 ③ 現地での活動について	● パワーポイント
11 時限目 まとめ	学習のまとめをして、今後の自分たちの生活につな げ、できることを実践していく。	

3. 授業の詳細

1 時限目：サモアと言えば？日本と言えば？

ねらい…サモアについて基礎知識を学び、日本について考える。

◆内容◆

- ① サモアについて知っていることを出す。
- ② 「サモアの歌」を紹介し、想像する。みんなで歌う。
- ③ 「わたしたちの地球と未来 サモア独立国」を使ってサモアの概略紹介やクイズ。
- ④ 日本と言えば、どんな事・物があるか、意見を出す。



サモアの歌

👉👉がポイント!

子どもたちもサモアについては、ほとんど知らない。詳しい知識ではなく、歌やクイズを通して、サモアに興味をもつことを意識した。サモアの歌はお気に入り☆

2 時限目：日本を伝えよう！

ねらい…日本の良さをサモアの子どもたちに伝えるために、工夫してポスターを描く。

◆内容◆

- ① 出た意見の中でサモアの子どもに伝えたい物を選ぶ。
- ② 班に分かれて、伝えたいテーマのポスターを作る。

<子どもたちの描いたポスター>



ポスター表紙



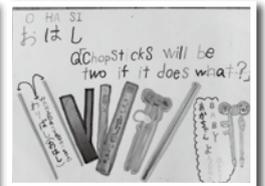
桜



お寿司



漢字



おはし

3 時限目：サモアの暮らし①

ねらい…サモアについて基礎知識を学び、日本について考える。

◆内容◆

- ① みんないっしょにサモア旅行に行くということで、学校から空港、NZ、サモアまで Google Earth でたどっていった。
- ② サモアの言葉であいさつをしたり、サモアの文化であるタトゥーの意味やマタイ制度について簡単に紹介した。
- ③ サモア「モノ・ランゲージ」班でこれは何のための物か考える。

児童の
反応

▶ 日本では見たことのない物に大興奮！ あだこうだ言いながら、班で相談して、何のための物が考えていました。中でも、アヴァの粉やピンロウの実は、なめてみる子もいて、大げさな反応で子どもたちも楽しい雰囲気になった。



あいさつ



アヴァの粉

4時限目：サモアの暮らし②

ねらい…サモアについて基礎知識を学び、日本について考える。

◆内容◆

- ① サモアの家にはカギがない、室内の写真などを見せながら、日本の家とのちがいを確認した。
- ② サモアと日本の一日の様子を比べて、サモアの生活のゆったりした時間の流れを考えた。
- ③ サモアの遊びを映像も見せながら紹介し、実際にやって遊んでみた。
- ④ サモアでは大半の人がキリスト教を厚く信仰しており、生活と密接につながっていることを紹介した。
- ⑤ 子どもたちからアヴァの儀式をやってみたいとの声があがり、その目的、やり方を説明した。
- ⑥ アヴァの儀式

児童の
反応

▶ アヴァの儀式は、みんなで円になって私の意味不明な呪文のもと、「マーヌイア（乾杯の意）」の掛け声で、勇気のある子を中心に飲み交わした。意外と女の子が何杯も飲みたいと言って、やんちゃな男の子が飲んだあと、ちょっと涙目になっていた。歓迎の儀式であったが、クラスの親睦を深める時間になった。



アヴァの儀式

5時限目：サモアの食文化と「いのち」

ねらい…サモアで生きていたブタを調理し食べることから、「いのち」をいただくことについて考えを深める。

◆内容◆

- ① サモアの食事で、生きていたブタをしめ、調理する場面を提示
- ② ブタのいのちは、かわいそうか、きもちわるいか、問いかける。
- ③ 絵本「いただきます」でいのちをたどる。
- ④ 「いただきます」「ごちそうさま」の意味を考え、交流する。



児童の
感想

- ▶ 給食で好ききらいをして、いつも少しへらしたりしていたけど、いのちを食べているのだから、ちゃんと食べようと思いました。
- ▶ はじめ写真を見て「うわー、かわいそうだな。」と思ったけど、私たちが生きていくためにいのちをもらっていることがわかって、「ありがとう」って思いました。
- ▶ トー君（村の子ども）は、お父さんとブタを殺して食べるのをいつもしているから、食べ物を残さないし、ムダにしないのだと思いました。

👉👉がポイント!

子どもたちの生活の中で、毎日食事をしていても、サモアの生活や食事のように「いのち」と隣り合わせになっていないため、子どもたちは「いのち」をどこか別の世界のものとして理解しているように思う。いのちをいただくということは、単に「かわいそう」などの情意的な見方だけでなく、自分たちが生きていく上で、欠かせないことがわかり、だからこそどんな「いのち」も大切にできる意識を育てたい。

6時限目：サモアの学校教育

ねらい…サモアの学校の様子を知り、日本の学校教育とのちがいが分かる。



◆内容◆

- ① サモアの学校の写真や子どもの写真を見せる。
- ② 成績優秀な子には表彰されることを伝える。(写真)
- ③ サモアでは理数系の学習に課題があり、引き算でも棒を書いて計算している子もいる。
- ④ 実際に私がサモアで行なった津波・地震の授業をする。

児童の
反応

▶ 当たり前だと思っていた学校の勉強がほかの国では様子がちがうことを知り、驚いていた。教科書がなかったり、地べたに座って勉強すること、特に、算数の計算で足し算の時、棒を1本1本足していく子も写真を見て、衝撃を受けていた。勉強って大事なんやなぁと実感した子もいたようだ。

7時限目：サモアからのメッセージ「ゴミ問題」

ねらい…ゴミについて、自分たちの生活とつなげて考える。

◆内容◆

- ① サモアのゴミ処理施設の写真や映像を見せる。
- ② サモア人は、ゴミをゴミ箱へ捨てるという意識は低い。
- ③ DVD「世界のゴミ捨て場に生きる人」を見る。
- ④ 感想交流



児童の
反応

▶ 自分と同じくらいの子どもが学校にも行けず、毎日お腹を空かせながら、ゴミ捨て場でゴミを拾いお金にしている姿を映像で見て、言葉をなくしていた。それほど自分たちの置かれている環境とのちがいを感じたのだろう。

8時限目：JICA 関西・中西さんに手紙を書こう！

ねらい…JICA 関西・国際協力推進員の中西さんに教室に来てもらうために、自分たちで考えて手紙を書く。

◆内容◆

- ① JICA チームの提案により、JICA の方を4年1組に呼び、いろんな話を聞きたいと声があがる。
- ② みんなで手紙を書こう。(班ごとに相談)

児童の
反応

▶ 自分たちの書いた手紙で本当に来てくれるか不安もあったが、それ以上に期待をこめてワクワクしながら書いていた。どの班も書く内容、質問や字もていねいに書いていた。

9時限目：しあわせのカタチ

ねらい…サモアと日本のしあわせについて考え、いろんなしあわせの感じ方に気づく。

◆内容◆

- ① 日本とサモアの幸せ度は、どのくらいか考える。
- ② 世界幸福度ランキングを提示し、なぜこんなに幸せの感じ方が違うか考える。
- ③ 日本の良いところと課題、サモアの良いところと課題を出す。
- ④ 「大切なものランキング」を振り返り、比較する。
- ⑤ 気づいたことを出し合い、話し合う。



授業の様子

◆所感◆

子どもたちの興味は、日本の幸福度がサモアより低いことに流れていたが、私が無理にねらいに近づけるために色んな資料を提示したことで、子どもたちの考えを縛ってしまった。子どもたちの自然な疑問から授業を進めるのが大切だと思った。

10時限目：教室に JICA 関西・中西さんがやってきた！

ねらい…JICA や国際協力について活動の様子を知る。

◆内容◆

- ① 中西さん挨拶&自己紹介
- ② JICA についてパワーポイントで簡単に説明する。
- ③ どうして国際協力をするのか説明する。
- ④ アフリカ、マラウィの国&文化&活動を映像で紹介する。
- ⑤ みんなにして欲しい事を伝える。(世界を知って欲しい)
- ⑥ 質疑応答

児童の
ふりかえり

- ▶ 外国では日本で当たり前のことできない。
- ▶ 外国のことをもっと知りたい!
- ▶ ボランティアをしたい!
- ▶ 中西さんにお礼の手紙を書きたい!

11時限目：まとめ

ねらい…これまでの学習をふりかえり、自分たちにできることをしていく。

◆内容◆

- ① 学習のまとめをして、今後の自分たちの生活につなげ、できることを実践していく。

4. 成果と課題

サモアの学習は、子どもたちにとって新鮮で、とても意欲的に取り組み、進んで調べたり、考えたりしていた。いろんな気づきや発見があり、知的好奇心をくすぐられる内容で単元のねらいの1つには近づけたかと思う。一方、価値観をゆさぶったり、ちがいを認め合える意識づくりに関しては、単にサモアと日本のちがいが分かったということに留まり、その学習を踏まえてそれぞれのちがいを認め合うといった意識には届いていない。これから4年生なりに自分たちの環境や社会も見つめ課題に向き合わせていくこと、そして、自分自身の関係づくりにおいても視点を深く掘り下げていけるよう、今後も実践していきたい。

参考文献 「最も大切なボランティアは、自分自身が一生懸命生きること」 池間哲郎著

参考ホームページ 「わたしたちの地球と未来 愛知県国際交流協会」

<http://www2.aia.pref.aichi.jp/koryu/j/kyouzai/PDF/H23/Samoa.pdf>